【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成17年8月11日(2005.8.11)

【公表番号】特表2001-507022(P2001-507022A)
【公表日】平成13年5月29日(2001.5.29)
【出願番号】特願平10-528673
【国際特許分類第７版】
　Ａ６１Ｋ　31/7076
　Ａ６１Ｋ　 9/14
　Ａ６１Ｋ　47/02
　Ａ６１Ｋ　47/10
　Ａ６１Ｐ　 7/04
【ＦＩ】
　Ａ６１Ｋ　31/7076
　Ａ６１Ｋ　 9/14
　Ａ６１Ｋ　47/02
　Ａ６１Ｋ　47/10
　Ａ６１Ｐ　 7/04

【手続補正書】
【提出日】平成16年12月7日(2004.12.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】補正の内容のとおり
【補正方法】変更
【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成１６年１２月７日

特許庁長官　小 川　洋　殿

１．事件の表示

平成１０年特許願第５２８６７３号

２．補正をする者

住 所　イギリス国ハートフオードシヤー州ダブリユー・デイー４８デイー・エイチ．キングズラングリー．ホームパーク（番地なし）

名 称　アストラ・フアーマシユウテイカルズ・リミテツド

３．代 理 人

住 所　東京都千代田区麹町一丁目１０番地(麹町広洋ビル)

電 話　（３２６１）２０２２

氏 名　(9173)　高　木　千　嘉　（外１名）

４．補正命令の日付（自発）

５．補正対象書類名

請求の範囲

６．補正対象項目名

請求の範囲

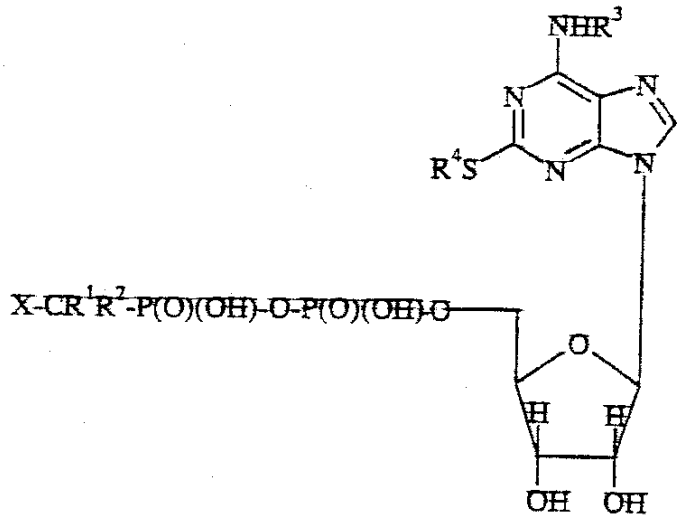
７．補正の内容

請求の範囲を別紙のとおり補正します。

請求の範囲

1．ヌクレオチド類縁体、マンニトールおよび、塩化ナトリウムまたはポリオールである変性用添加剤を含む医薬組成物。

2．ヌクレオチドが式



(I)

（式中、R^1およびR^2は独立して水素またはハロゲンを表し、

R^3およびR^4は独立してフェニル基、あるいはOR^5、C_1～C_6のアルキルチオ、NR^6R^7、フェニル、$COOR^8$およびハロゲンから選択される一つまたは二つ以上の置換基によって場合によっては置換されているC_1～C_6のアルキル基を表し、

R^5、R^6、R^7およびR^8は独立して水素またはC_1～C_6のアルキル基を表し、そしてXは酸の部分を表す）

を有する化合物、またはその医薬として許容される塩である請求項1記載の医薬組成物。

3．R^1およびR^2がハロゲンであり、R^3がC_1～C_6のアルキルチオによって場合によっては置換されているC_1～C_6のアルキル基であり、R^4はハロゲンによって場合によっては置換されているC_1～C_6のアルキル基であり、そ

してXは$-P(O)(OH)_2$、$-SO_3H$または$-CO_2H$である請求項１または２記載の医薬組成物。

４．ヌクレオチドがN－〔２－（メチルチオ）エチル〕－２－〔（3,3,3－トリフルオロプロピル）チオ〕－5′－アデニル酸のジクロロメチレンビスホスホン酸との一無水物である請求項１から３のいずれか１項記載の医薬組成物。

５．変性用添加剤がポリオールである請求項１から４のいずれか１項記載の医薬組成物。

６．変性用添加剤がソルビトールである請求項１から５のいずれか１項記載の医薬組成物。

７．１重量％またはそれ以上のマンニトールをさらに含有する請求項１～６のいずれか１項記載の医薬組成物。

８．凍結乾燥、噴霧乾燥または真空乾燥された形態である請求項１～７のいずれか１項記載の医薬組成物。

９．再構成された形態である請求項８記載の医薬組成物。

10．pHが６～10である請求項１～９のいずれか１項記載の医薬組成物。

11．水の含有率が５重量％より小さい請求項１～10のいずれか１項記載の医薬組成物。

12．治療に使用するための請求項１～11のいずれか１項記載の医薬組成物。

13．組成物の成分を混合しそして混合物を冷凍しそして冷凍された混合物を乾燥するか、あるいは混合物を噴霧することからなる、請求項８記載の医薬組成物の製造方法。

14．血小板の凝集障害を治療するための医薬を製造するための請求項１～11のいずれか１項記載の医薬組成物の使用。

15. ヌクレオチド類縁体、マンニトールおよび塩化ナトリウムまたはポリオールの変性用添加剤を混合しそして混合物を凍結乾燥、真空乾燥または噴霧乾燥の操作にかけることからなる、請求項１～11のいずれか１項に規定する医薬組成物の製造方法。